

注釈一覧

当カタログにて掲載している注釈の一覧です。

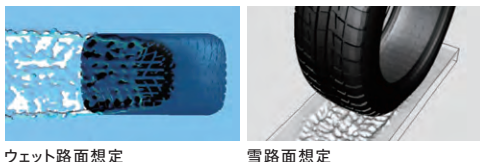
P19の注釈	※1[テスト条件]タイヤサイズ:225/45R18 95W XL/空気圧:250kPa/速度:60km/h/試験車両:クラウンRS 6AA-AZSH20-AEXRB 2500cc ハイブリッド 後輪駆動/試験路面:当社ブルーピンググラウンドの荒れたアスファルト舗装路/スモーズなアスファルト舗装路/音圧レベル:荒れたアスファルト舗装路[GR-XIII 62.26dBA, GR-XII 62.83dBA]/スモーズなアスファルト舗装路[GR-XIII 45.08dBA, GR-XII 45.43dBA]/計測方法:各々の路面を走行した時に発生するタイヤ音を測定。騒音計で評価車両運転手の左近傍(助手席側)の音圧を計測。 *音圧差での騒音エネルギー低減率の換算式は、騒音エネルギー低減率(%) = $(\frac{1}{10^{\frac{L_p - L_{p0}}{10}}} - 1) \times 100$ ※2[テスト条件]タイヤサイズ: 225/45R18 95W XL /試験荷重:4.69kN/空気圧:250kPa/速度:40km/h/試験方法:室内ドラム試験機のドラムに突起を固定して、上下軸力を測定/試験場所:当社技術センター室内ドラム試験機
P20の注釈	※3[テスト条件]タイヤサイズ:225/45R18 95W XL/準拠した試験名称:「自動車用タイヤの制動試験方法」(JATMA)/空気圧:250kPa/試験車両:クラウンRS 6AA-AZSH20-AEXRB 2500cc ハイブリッド 後輪駆動/初速度:80km/h/水深:2mm/路面の種類:アスファルト/ABS作動表示:ABS ON/停止距離(平均):GR-XIII 30.31m, GR-XII 34.73m
P21の注釈	※1[テスト条件]タイヤサイズ:REGNO GR-XIII TYPE RV 235/50R18 101V XL、REGNO GR-XIII 235/50R18 101V XL/空気圧:240kPa/試験車両:トヨタ アルファード 6AA-AZH30W 2490cc 2023年式 前輪駆動/試験距離:10000km/ローテーション:2500km走行毎に実施
P25の注釈	※1[テスト条件]タイヤサイズ:265/35R18 97W XL/空気圧:200kPa/試験車両:スバル BRZ DBA-ZC6 2000cc 後輪駆動/試験場所:筑波サーキットコース2000/ドライバー:当社委託プロドライバー ※2[テスト条件]タイヤサイズ:215/45R17 91W XL/空気圧:240kPa/試験車両:トヨタ 86 DBA-ZN6 2000cc 後輪駆動/試験距離:8000km/ローテーション:2000km走行毎に実施 ※3[テスト条件]タイヤサイズ:215/45R17 91W XL/空気圧:240kPa/試験場所:当社技術センター室内のタイヤ動的接地面解析装置/試験方法:室内試験機上でタイヤを圧着し、タイヤ接地面に発生する接地状態を計測
P27の注釈	※1[テスト条件] タイヤサイズ:245/40R18 97Y XL/空気圧:240kPa/試験車両:BMW 328i DBA-3A20 2000cc 後輪駆動/試験場:当社ブルーピンググラウンドドライコース/ドライバー:社内テストドライバー ※2[テスト条件]タイヤサイズ:245/40R18 97Y XL/空気圧:240kPa/試験車両:BMW 328i DBA-3A20 2000cc 後輪駆動/初速度:80km/h/水深:1mm/路面の種類:アスファルト/ABS作動表示:ABS ON/停止距離(平均):S007A 25.89m, S001 26.50m
P31の注釈	※1 [テスト条件]ノーマルタイヤ(POTENZA S001):245/40R18 97Y XL 従来のランフラットテック/ローグ採用タイヤ(POTENZA RE050 RFT):245/40R18 93W POTENZA S001 RFT:245/40R18 93W 試験荷重:4.71kN 空気圧:240kPa 試験法の名称:静的荷重特性試験 試験場所:当社技術センター室内試験機
P33の注釈	※1[テスト条件]タイヤサイズ:195/65R15 91H/空気圧:フロント240kPa・リア240kPa/試験車両:トヨタ ノア DBA-ZRR80G 2000cc 前輪駆動/初速度:80km/h/水深:2mm/路面の種類:アスファルト/ABS作動表示:ABS ON/停止距離(平均):Playz PX-RV11 26.30m, Playz PX-RV 27.53m ※2[テスト条件]タイヤサイズ:195/65R15 91H/空気圧:240kPa/試験車両:トヨタ ノア DBA-ZRR80G 2000cc 前輪駆動/試験距離:8000km/ローテーション:2000km走行毎に1回実施
P36の注釈	※1 [テスト条件]タイヤサイズ:ECOPIA NH200 195/65R15 91H, ECOPIA NH100 195/65R15 91H/試験荷重:4.82kN/空気圧:210kPa/速度:80km/h/試験法の名称:フォース式/試験場所:当社技術センター室内ドラム試験機 ※2 [テスト条件]タイヤサイズ:ECOPIA NH200 195/65R15 91H, ECOPIA NH100 195/65R15 91H/空気圧:フロント250kPa・リア240kPa/試験車両:トヨタ プリウス DAA-ZVW51 1790cc 2019年式 前輪駆動/試験速度:50km/h・80km/h, 5km/h毎/水深:10mm/路面の種類:アスファルト/ハイドロプレーニング発生速度:[新品時(走行0km)]ECOPIA NH200 65km/h, ECOPIA NH100 65km/h, ECOPIA NH100 60km/h ECOPIA NH200:タイヤを36%パフし20,000km走行を再現(溝深さは5.3mm) ECOPIA NH100: タイヤを37%パフし20,000km走行を再現(溝深さは5.4mm)
P37の注釈	※1 [テスト条件]タイヤサイズ:ECOPIA NH200 195/65R15 91H, ECOPIA NH100 195/65R15 91H/試験荷重:4.82kN/空気圧:210kPa/速度:80km/h/試験法の名称:フォース式/試験場所:当社技術センター室内ドラム試験機 ※2 [テスト条件]タイヤサイズ:ECOPIA NH200 195/65R15 91H, ECOPIA NH100 195/65R15 91H/空気圧:フロント250kPa・リア240kPa/試験車両:トヨタ プリウス DAA-ZVW51 1790cc 2019年式 前輪駆動/試験距離:8,000km/ローテーション:2,000km走行毎に1回実施 ※3 [テスト条件]タイヤサイズ:ECOPIA NH200 195/65R15 91H, ECOPIA NH100 195/65R15 91H/空気圧:フロント250kPa・リア240kPa/速度:60km/h/試験車両:トヨタ プリウス DAA-ZVW50 1790cc 2016年式 前輪駆動/試験路面:当社ブルーピンググラウンドのスムーズなアスファルト舗装路/計測方法:スムーズなアスファルト舗装路面を走行した時に発生するタイヤ音を測定。騒音計で評価車両運転手の左近傍の音圧を計測。 *音圧差での騒音エネルギー低減率の換算式は、騒音エネルギー低減率(%) = $(\frac{1}{10^{\frac{L_p - L_{p0}}{10}}} - 1) \times 100$
P38の注釈	※1 [テスト条件]タイヤサイズ:ECOPIA NH200C 155/65R14 75H, ECOPIA NH100C 155/65R14 75H/試験荷重:3.04kN/空気圧:210kPa/速度:80km/h/試験法の名称:フォース式/試験場所:当社技術センター室内ドラム試験機 ※2 [テスト条件]タイヤサイズ:ECOPIA NH200C 155/65R14 75H, ECOPIA NH100C 155/65R14 75H/空気圧:フロント240kPa・リア230kPa/試験車両:ホンダN-BOX 650cc DBA-JF3 2017年, 2018年式 前輪駆動/試験距離:8,000km/ローテーション:2,000km走行毎に1回実施 ※3 [テスト条件]タイヤサイズ:ECOPIA NH200C 155/65R14 75H, ECOPIA NH100C 155/65R14 75H/空気圧:フロント240kPa・リア230kPa/試験車両:ホンダN-BOX 650cc DBA-JF3 2017年, 2018年式 前輪駆動/試験距離:8,000km/ローテーション:2,000km走行毎に1回実施
P39の注釈	※1 [テスト条件]タイヤサイズ:NEWNO 195/65R15 91H, NEXTRY 195/65R15 91S/空気圧:フロント240kPa・リア240kPa/試験車両:トヨタ ノア DBA-ZRR80G 1986cc 2018年式 前輪駆動/初速度:80km/h/水深:2mm/路面の種類:アスファルト/ABS作動表示:ABS ON/停止距離(平均):NEWNO 27.5m, NEXTRY 29.8m ※2 [テスト条件]タイヤサイズ:NEWNO 195/65R15 91H, NEXTRY 195/65R15 91S/空気圧:フロント240kPa・リア240kPa/試験車両:トヨタ ノア DBA-ZRR80G 1980cc 2019年式 前輪駆動/試験距離:8,000km/ローテーション:2,667km走行毎に1回実施 ※3 [テスト条件]タイヤサイズ:NEWNO 195/65R15 91H, NEXTRY 195/65R15 91S/空気圧:フロント240kPa・リア240kPa/試験車両:トヨタ ノア DBA-ZRR80G 1980cc 2019年式 前輪駆動/試験距離:8,000km/ローテーション:2,667km走行毎に1回実施
P42の注釈	※1[テスト条件]タイヤサイズ:225/65R17 102H/空気圧:フロント240kPa・リア240kPa/速度:60km/h/試験車両:トヨタハリアー DBA-ZSU60W 2000cc 前輪駆動/試験路面:当社ブルーピンググラウンドのスムーズなアスファルト舗装路/音圧レベル:新品時(LX100 47.5dBA, H/L850 48.6dBA)/60%摩耗時(LX100 40.4dBA, H/L850 41.2dBA)/計測方法:スムーズなアスファルト舗装路面を走行した時に発生するタイヤ音を測定。騒音計で評価車両運転手の左近傍の音圧を計測。 *音圧差での騒音エネルギー低減率の換算式は、騒音エネルギー低減率(%) = $(\frac{1}{10^{\frac{L_p - L_{p0}}{10}}} - 1) \times 100$ ※2[テスト条件]タイヤサイズ:225/65R17 102H/空気圧:フロント240kPa・リア240kPa/試験車両:トヨタハリアー DBA-ZSU60W 2000cc /試験距離:15000km/ローテーション:2500km走行毎に1回実施
P43の注釈	※1[テスト条件]タイヤサイズ:ALENZA 001 235/60R18 103W, DUELER H/P SPORT 235/60R18 103V/試験荷重:6.87 k N/空気圧:210kPa/速度:80km/h/試験法の名称:フォース式/試験場所:当社技術センター室内ドラム試験機 ※2[テスト条件]タイヤサイズ:ALENZA 001 235/60R18 103W, DUELER H/P SPORT 235/60R18 103V/空気圧:フロント240kPa・リア240kPa/試験車両:Q5 ABA-8RCNCF 1984cc フルタイム4WD/試験距離:8000km/ローテーション:2000km走行毎に1回実施
P49の注釈	※1[テスト条件]タイヤサイズ:R710 145/80R12 80/78N, R680 145R12 6PR/空気圧:フロント260kPa・リア350kPa/試験車両:ピクシスパン EBD-5321M 658cc 後輪駆動/試験距離:8000km/ローテーション:2000km走行時に1回実施 ※2[テスト条件]タイヤサイズ:ECOPIA R710 145/80R12 80/78N, ECOPIA R680 145R12 6PR/試験荷重:4.41kN/空気圧:350kPa/試験速度:100km/h/試験場所:当社技術センター室内のタイヤ動的接地面解析装置/試験方法:室内ドラム試験機上でタイヤを転動し、タイヤ接地面に発生する接地圧を計測 ※3[テスト条件]タイヤサイズ:R710 145/80R12 80/78N, R680 145R12 6PR/試験荷重:3.75 k N/空気圧:350kPa/速度:80km/h/試験法の名称:フォース式/試験場所:当社技術センター室内ドラム試験機 ※4[テスト条件]タイヤサイズ:R710 145/80R12 80/78N, R680 145R12 6PR/空気圧:フロント260kPa・リア350kPa/試験車両:ハイゼットカーゴ EBD-5321V-ZRRF 658cc 後輪駆動/初速度:80km/h/水深:2mm/路面の種類:アスファルト/ABS作動表示:ABS ON/停止距離(平均):ECOPIA R680 33.4m, ECOPIA R710 33.5m
P53の注釈	※1 転がり抵抗試験 室内ドラム試験機による計測。タイヤに一定の荷重を负荷し、一定の速度のもとに回転する時の接地面に発生する進行方向の抵抗値を測定。[テスト条件]タイヤサイズ:195/75R15 109/107N/リム:15×5½J/空気圧:600kPa/荷重:8.59kN/速度:80km/h 転がり抵抗係数(RRC)の結果は、R214:55.6×10⁻⁴, R201:63.1×10⁻⁴です。 ●タイヤ転がり抵抗の低減率は、車両実燃費の向上率とは異なります。 ※2 転がり抵抗試験 室内ドラム試験機による計測。タイヤに一定の荷重を负荷し、一定の速度のもとに回転する時の接地面に発生する進行方向の抵抗値を測定。[テスト条件]タイヤサイズ:205/85R16 117/115L/リム:16×5½J/空気圧:600kPa/荷重:12.00kN/速度:80km/h 転がり抵抗係数(RRC)の結果は、M812:73.8×10⁻⁴, M810:92.9×10⁻⁴です。 ●タイヤ転がり抵抗の低減率は、車両実燃費の向上率とは異なります。
P54の注釈	※1[テスト条件] タイヤサイズ: R207 195/85R16 114/112N, R205 195/85R16 114/112L/空気圧:フロント600kPa/リア600kPa/試験車両:いすゞ TKG-NMR85AR 3000cc 後輪駆動/試験距離:39750km/ローテーション:5000km走行毎に1回実施 ※2[テスト条件]タイヤサイズ:205/65R16 109/107L/空気圧:フロント600kPa/リア600kPa/試験車両:いすゞメルブ SKG-NMR85AN 平成24年式/試験距離:10,000km/ローテーション:有無:回転方向は変えず、フロントは5,000km毎、リアは2,500km毎に、同一車両内の左右で入れ替えを実施 ※3[テスト条件]タイヤサイズ:195/85R16 114/112L/空気圧:フロント600kPa/リア600kPa/試験車両:いすゞメルブ3ト・PB-NKR81A 平成16年式/初速度:40km/h/水深:2mm/路面の種類:アスファルト/ABS作動表示:ABS ON/停止距離(平均):DURAVIS M804:10.6m M810:11.3m ※4[テスト条件]タイヤサイズ:G640 205/80R17.5 120/118N, M804 205/80R17.5 120/118L/空気圧:フロント600kPa/リア600kPa/試験車両:日野ポンチョ ADG-HX6JLAE 4,728cc/試験距離:25,000km/ローテーション:約5,000km走行毎に実施 ※上記テスト条件に関するさらに詳細なデータについてはタイヤ公正取引協議会に届けてあります。 ※試験結果はあくまでもテスト値であり運転の仕方によっては異なります。

ULTIMATE EYE[®] (アルティメットアイ)とは

タイヤに求められる性能を最大限に高めるブリヂストン独自の徹底したシミュレート&計測技術。
タイヤ開発時にシミュレーションとタイヤの現物の計測を繰り返し行うことで、**タイヤ解析のさらなる精度向上**を図ります。

シミュレーション・設計

タイヤの開発にあたり、コンピュータでさまざまなシミュレーションを実施。
計算上、最適なタイヤを設計しプロトタイプ(試作)を製作。



ウェット路面想定

雪路面想定

新タイヤ計測技術

シミュレーションだけでは分からない実際の性能を確認するため、実走行状態での動的なタイヤの挙動を再現し可視化。
ブリヂストンの独自技術です。



高速回転タイヤ計測技術



従来

新計測技術

より高度に

トレッドパタンの接地力分布の計測・可視化技術の開発により、従来では分からなかった高速回転時のパタン細部の効きまで計測が可能に。

